

2026年3月19日
株式会社タダノ

秋田県男鹿市、潟上市及び秋田市沖洋上風力事業に 国産で初の量産化、ダビットクレーン納入へ

株式会社タダノ（本社：香川県高松市、代表取締役社長・CEO 氏家 俊明）は、秋田県男鹿市、潟上市及び秋田市沖における、洋上風力発電事業の風車プラットフォームに取り付けられるダビットクレーン*を開発し、受注致しました。



*ダビットクレーンとは？

洋上風力発電設備向けのクレーンで、輸送船(CTV)によって運ばれたメンテナンス資材などを、洋上風車のプラットフォームへ荷役します。洋上の過酷な環境での作業に応えるため、独自の性能を搭載し、ISO 12944CX の高い防錆性能を誇ります。

1. 受注の経緯

当社は、男鹿・潟上・秋田 Offshore Green Energy 合同会社（代表職務執行者：由井原 篤、本社：秋田県潟上市）が事業者となる秋田県男鹿市、潟上市及び秋田市沖における洋上風力発電事業に関して、鹿島建設株式会社（代表取締役会長兼社長：押味 至一、本社：東京都港区）よりダビットクレーンの製造業務を受注しました。これは「海洋再生可能エネルギー発電設備の整備に係る海域の利用の促進に関する法律（再エネ海域利用法）」に基づき公募選定された事業の中で、着床式案件として最も早く運転開始される予定で、国産のダビットクレーンを採用する国内第1号案件となります。

2. 開発コンセプト

当社は、長年のモノづくりを通じて高い信頼を頂いており、洋上風力発電事業におけるご期待にもお応えすべく、新規分野であるダビットクレーンの開発に着手。洋上での過酷な作業環境への対応や品質、さらに作業効率や安全性、メンテナンス性にも配慮し、開発を進めて参りました。

さらにダビットクレーンは従来海外製品しかなく、政府の洋上風力の産業競争力強化に向けた、基本戦略の国内製品調達比率の向上にも寄与します。製造は、本社のある香川県高松市の高松工場で行い、年間 60 台を見込みます。

ダビットクレーンの開発は、洋上風力発電への貢献として、当社の長期環境目標 2030 に基づく新規製品の開発となります。

3. 主な製品特徴

① 洋上作業に応えるスペック

最大つり上げ荷重は 2.98t。この高いつり上げ性能をワイヤロープ 1 本掛けで実現しているのは、当社のダビットクレーンのみです。ワイヤロープの掛け替え作業が不要なため、作業効率が向上します。

またウインチ巻上速度は高速：約 26m/min、低速：約 13m/min を実現。有義波高が 2m 時でも、輸送船からの荷役作業が可能です。

② 操作性

操作は、標準装備の有線式リモコンと、オプションの無線式ラジコンを用意。また旋回は手動式と、オプションの電動旋回式が選択可能です。

さらに制御盤は、クレーン背面に一体型で配置されています。

③ 多様な仕様にも対応

作業半径は 3m から 7m まで、0.5m 刻みで設定可能。9 パターンの範囲設定により、さまざまなプラットフォームに対応します。

④ 様々な製品規格にも対応

日本のクレーン構造規格に加え、欧州のオフショア規格 EN13852-3 にも準拠。さらに CE マークを取得します。

4. 販売目標台数

年間 60 台

株式会社タダノについて

1955 年に日本初の油圧式トラッククレーンを発売して以来、タダノは業界のリーディングカンパニーとして、お客様の安全と地球環境に配慮した新たな価値を提供するための戦略を推進しています。2023 年には世界初となるフル電動のラフテレーンクレーンを発売しました。中期経営計画（24-26）に掲げる「Reaching new heights」のスローガンのもと、当社は地域社会・国際社会発展への貢献と地球環境の保全に役立つ事業活動を推進し、すべてのステークホルダーの期待に応え「世界に、そして未来に誇れる企業」を目指します。

【会社概要】

会社名：株式会社タダノ

所在地：香川県高松市新田町甲 34 番地

代表者：代表取締役社長・CEO 氏家 俊明

URL：<https://www.tadano.co.jp/>

事業内容：建設用クレーン、車両搭載型クレーン及び高所作業車
及び運搬機械等の製造販売



【本リリースに関するお問い合わせ先】

株式会社タダノ 国内営業企画第三部 TEL：03-6811-7295

以上